

報道関係者 各位

令和4年8月10日

【照会先】

神奈川県労働局 職業安定部 職業安定課

課長 滝沢 勉

課長補佐 白戸 順一

(電話) 045(650)2800

令和3年度における公共職業安定所のマッチング機能に関する業務の実績と取組について

全国の公共職業安定所（ハローワーク）においては、例年ハローワークの機能強化を図るために、従来のPDCAサイクルによる目標管理を拡充し、平成27年度からハローワークのマッチング機能に関する業務の総合評価、評価結果に基づく業務改善を一体的に実施していますが、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症により労働市場やハローワークにおける業務への影響を踏まえ、ハローワーク毎に設定する各業務指標の目標値に代えて、過去3年度における当該指標の実績との対比等により業務の進捗管理を行い、取組状況や結果に応じ業務改善を図りました。

つきましては、県内14ハローワークの令和3年度の業務成績を公表します。

神奈川県労働局及び各ハローワークでは、令和4年度も引き続き中長期的な業務の質の向上や継続的な業務改善に取り組むとともに、成果や評価結果、業務改善の状況等について利用者にわかりやすく公表することで、ハローワークに対する信頼感の向上に努めてまいります。

ハローワーク総合評価について

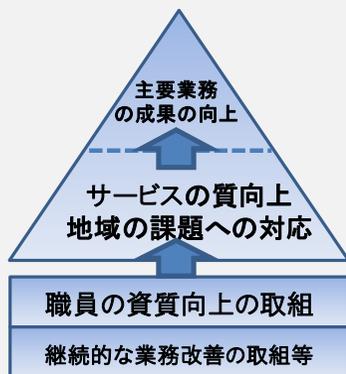
- 平成27年度から、目標管理・業務改善の取組拡充等を柱とする「ハローワーク総合評価」を開始。
- 例年、すべてのハローワークにおいて業務毎に目標値を設定し、その達成状況等に応じた4段階の相対評価等を実施。次年度以降の業務改善に繋げる。また、取組状況や評価結果は公表し、審議会（労働政策審議会（本省）や地方労働審議会（労働局））にも報告。
- 令和3年度はコロナ禍の業務への影響が引き続き不透明であり、また地域ごとで多様であることも踏まえつつ、その実施方法を一部変更した上で、業務改善につなげる一連の流れを継続実施した。
- (1)目標管理、(2)実績公表・相対評価、(3)評価結果に基づく業務改善といった一連の流れを続けることにより、サービスの質の向上に向けた取組を継続的に実施。

(1) PDCAサイクルによる 目標管理・業務改善の拡充

・ 従来の取組(就職率等の**主要指標**に基づくPDCAサイクルによる目標管理)を拡充し、

- ① 業務の質に関する**補助指標**
- ② ハローワーク毎に、地域の雇用の課題を踏まえ重点とする業務に関する**所重点指標**
- ③ 中長期的なマッチング機能強化のため、職員の資質向上や継続的な業務改善の取組を推進する評価項目である**所重点項目**

を加え、総合的な観点から目標管理を実施。



短期的な成果の向上だけでなく、
中長期的な業務の質向上・業務改善を図り、
マッチング機能を強化

(2) ハローワークのマッチング機能の 総合評価・利用者への公表

- ・ 業務の成果を毎月公表
→ 各労働局が所管ハローワークの主要指標の実績を毎月公表
- ・ 年度終了後、業務の成果(主要指標・所重点指標)や質(補助指標)、職員の資質向上・業務改善の取組(所重点項目)の実施状況を踏まえ、ハローワーク毎に総合評価を実施。
→ 労働市場の状況や業務量が同程度のハローワークを11グループに分け、同一グループ内で相対評価
- ・ ハローワーク毎に総合評価結果及び業務改善の取組等をまとめ、各労働局が公表。



重点的に取り組んだ事項、業務改善を図った事項、業務改善が必要な事項、総合評価、基本統計データ、指標ごとの実績及び目標達成状況などを公表

- ・ 総合評価結果を、労働局は地方労働審議会、本省は労働政策審議会に報告。

(3) 評価結果に基づく 全国的な業務改善

- ・ ハローワークのマッチング機能の強化を図るため、評価結果をもとに、本省・労働局による個別のハローワークへの重点指導や好事例の全国展開を実施
- ① 評価結果に基づき、本省から、労働局・ハローワークに対する問題状況の改善指導
- ② 一定の基準に該当するハローワークは改善計画を作成、本省・労働局が重点指導
- ③ 相対的に高評価であったハローワークにおける取組事例を全国展開

次年度以降も
(1)~(3)を実施

ハローワーク横浜 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所においては、新型コロナウイルス感染症による雇用への影響が長引く中で、離職を余儀なくされる方が多く来所される一方、一部の業種については令和2年度と比較して求人が増加に転じており、月平均の有効求人倍率は1.27倍と、前年度から0.06ポイント上昇するなど、人材不足感のある産業や職種が生じていました。

そこで、コロナ禍において人材確保に苦慮しながらも積極的に人材育成に取り組む求人事業所に対する充足のための支援を強化しました。具体的には、事業所担当者制を導入し求人票作成に関する助言を行ったほか、職業相談部門とのマッチング会議の開催、求職者への積極的な求人情報提供、庁舎内に「人材育成求人コーナー」を設置し、求人一覧表の配架を行うなど、職業相談部門と連携を強化して求人充足に取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

職員の職業相談スキル向上に向けた取組として、職業相談窓口以外の部署に配置されている職員及び職業相談業務経験が3年未満の職員を対象に、職業相談業務とキャリアコンサルタント技法を融合させた「ゼロから始めるキャリアコンサルティング研修」を実施しました。

また、多様化する性的マイノリティへの理解を深め、職業相談業務に従事する上で必要な配慮を適切に行うために、「LGBT等性的マイノリティに関する職員研修」を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

当所は、神奈川県内で最も規模が大きく利用者の多いハローワークであり、特に雇用保険受給資格者の求職登録手続き及び資格決定手続きによる各フロアの混雑・密集が常態化していたところですが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためにも、この混雑・密集を回避する必要があるため、令和3年3月末に「混雑状況確認システム（ネコの目.com）」を本格的に導入しました。このシステムは、呼出番号や待ち人数をスマートフォンで簡単に確認することができるため、当該システムを導入したことで、待ち時間に外出することが可能となり、待ち時間の有効活用やフロア内の混雑・密集が緩和される等、サービス改善に繋がりました。

また、コロナ禍で来所を控えホームページを利用される方、特に求人をお探しの方がワンクリックで求人の検索ができるよう「スマート検索」機能を追加し、利用者の利便性を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染防止のため、オンラインセミナーやオンライン職業相談、オンラインミニ面接会など、積極的にオンラインを活用して就職支援に取り組み、就職件数及び充足件数は前年度実績を上回る結果となりました。しかし、雇用保険受給者の早期再就職件数については、コロナ禍で雇用保険説明会及び初回講習会を中止し、動画を視聴していただくこととしたため、早期再就職のメリットやハローワークが提供する就職支援メニューを十分に周知できたとは言えず、その結果前年度の実績を上回ることができませんでした。

令和4年度は、感染状況を踏まえたうえで、雇用保険説明会及び初回講習会の再開を検討するとともに、職業相談窓口においても早期再就職のメリットと就職支援メニューの有効性を確実に説明し、雇用保険受給者の早期再就職に取り組んでまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

当所においては、新規求職登録者が減少する中、高年齢者層の占める割合が高くなっており。今後は高年齢者層に対する支援の強化が重要と考え、高年齢者層の就職率向上のための求人確保及び充足に取り組んでまいります。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正社 員に結びついた就 職永河期世代の不 安定就労者・無業 者の件数	正社員 求人数	正社員 就職件数	就職支援ナ ビゲーター の支援によ る正社員就 職件数	生活保護受 給者等の 就職率	障害者の 就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率	人材不足 分野の 就職件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上 の就職件数
令和3年度実績	6,965	8,611	3,944	128.6%	605	49,930	2,632	1,590	62.6%	693	96.6	1,489	415
過去3年度平均	8,255	9,274	4,550	149.8%	398	53,442	3,410	1,488	57.7%	796	101.9	1,365	328
対過年度3年度比	84.4%	92.9%	86.7%	85.8%	152.0%	93.4%	77.2%	106.9%	108.5%	87.1%	94.8%	109.1%	126.5%
R2年度実績	6,689	8,293	4,483	133.5%	398	46,094	2,571	1,287	49.0%	561	118.6	1,377	380
対R2比	104.1%	103.8%	88.0%	96.3%	152.0%	108.3%	102.3%	123.5%	127.8%	123.5%	81.5%	108.1%	109.2%
R1年度実績	8,526	9,414	4,598	149.7%	—	54,763	3,583	1,569	59.2%	926	92.8	1,588	335
対R1比	81.7%	91.5%	85.8%	85.9%	—	91.1%	73.4%	101.3%	105.7%	74.8%	104.1%	93.8%	123.9%
H30年度実績	9,549	10,115	4,568	166.2%	—	59,468	4,077	1,608	64.8%	900	94.2	1,130	270
対H30比	72.9%	85.1%	86.3%	77.3%	—	84.0%	64.6%	98.9%	96.6%	77.0%	102.5%	131.8%	153.7%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク戸塚 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大の求職・求人への影響を鑑み、応募機会の確保と適格紹介の推進のため下記の4点に重点を置き取り組んでまいりました。

➤求人情報の提供

新型コロナウイルス感染防止のため来所を控えている求職者も少なからずいることを鑑み、緊要度の高い求職者を対象に、求職登録後速やかにマッチングを行い求人情報の提供を実施いたしました。新規求職登録時にマイページ開設勧奨を積極的に実施し、マイページを活用したスピード感のある情報提供に注力しました。また、下半期からは担当者制による情報提供に特化し、単に求人情報の提供にとどまらず、課題解決に向けた支援を行うことで就職への道筋をつけられるよう努めました。

➤複数紹介の推進

新規求人が減少傾向にある中、応募機会の確保のため窓口において積極的な複数紹介の推進に取り組みました。

➤求人の確保

求人更新の連絡のない事業所に対し、月半ばを目途に更新勧奨文を送付し、更新を促しました。また、歓迎求人開拓用リーフレットを同封することにより、高年齢者・就職氷河期世代・訓練修了者歓迎求人の開拓に努めました。併せて、前年度に引き続き求人開拓用チラシ及び事業所アンケートを卸売・小売業を対象に送付し、希望する事業所には訪問による求人開拓を実施いたしました。また、雇用指導官の実施する障害者雇用率達成に係る事業所指導に紹介部門の職員が同行し、障害者求人を中心に求人開拓を実施いたしました。

➤職業訓練への誘導

希望職種が未定の求職者や職種転換の必要のある求職者、生活困窮者等を中心に職業訓練相談窓口積極的に誘導することで、公共職業訓練あっせん数の増加に努めました。また、あっせん数が増加した結果、公的職業訓練修了3ヶ月後の就職件数も大幅に増加いたしました。

上記の取組の結果、紹介件数は前年度を下回ったものの、就職件数については前年度実績を上回ることができました。今後、コロナの感染状況や原材料の高騰、ウクライナ情勢等の影響で先行きは不透明ですが、応募機会の確保と適格紹介に努めてまいります。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業紹介部門の統括職業指導官が講師となり、職業紹介部門の若手職員、相談員を中心に求人マッチング技術向上を図ることを目的としたマンツーマンでのマッチング研修を実施いたしました。同じく、職業訓練担当部門の統括職業指導官が講師となり、他部門の職員、相談員を対象に職業訓練関連の基礎知識習得を目的とした職業訓練基礎研修を実施いたしました。また、所長、次長が講師となり、職員全員にサービス向上を目的とした接客研修を実施いたしました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- ・ポスターやリーフレット、求人票等の掲示を見直し、明るく統一感のあるレイアウトに改善しました。その結果、来所者から見やすい掲示となり、求人票やリーフレットなどの持ち帰り数も増加しました。
- ・戸塚所のHPを改修し、見やすく検索しやすいレイアウトに変更いたしました。その結果アクセス数が増加しました。
- ・HPに混雑情報を掲載し、来所者の待ち時間短縮を図りました。
- ・新型コロナ感染対策のため、就職支援セミナーを対面とオンラインを併用して実施いたしました。感染防止のため密を避けたい求職者からは好評でした。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークのシステムとハローワークインターネットサービスの刷新により、自宅での求人検索も容易になり、オンライン自主応募も可能となったことを踏まえ、ハローワークの支援サービスを積極的にアピールしてまいります。相談窓口への積極的な誘導はもちろんのこと、求職者担当者制によるきめ細かな支援を充実させてまいります。そのためには職員のスキルアップにも力を入れてまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

年度初めから年末までは、コロナの感染拡大状況やワクチン接種の進捗状況の様子を見ている求職者が多いと感じられましたが、前年度と比較して、求職者の動向にコロナの影響はあまり感じられませんでした。求人者の動向については、当所管内は新規求人の60%近くを医療・福祉・建設・運輸等の雇用吸収力の高い業種が占めているため、コロナ禍の影響は小さく未だ人手不足感が顕著であります。今後、セミナーや事業所見学等の開催を通じ、求職者の職業理解を深め、関心と意欲を醸成していくことにより、ミスマッチの解消につなげていければと考えております。また、高年齢の求職者が年々増加傾向にあることから、60歳以上歓迎求人の確保やパート求人の紹介に注力していきたいと考えております。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給 者早期再就職 件数	紹介率	障害者の 就職件数	就職支援ナビ ゲーターの支 援による正社 員就職件数	ハローワーク の職業紹介に より正社員に 結びついた就 職氷河期世代 の不安定就労 者・無業者の 件数	公的職業訓練 終了3か月の 就職件数	正社員求人数	正社員 就職件数	生涯現役 支援窓口での 65歳以上の 就職件数
令和3年度実績	2,698	1,835	1,579	130.6%	390	133	227	320	10,744	1,015	144
過去3年度平均	2,943	2,063	1,796	137.7%	430	198	177	276	10,673	1,207	128
対過去3年度比	91.7%	88.9%	87.9%	94.8%	90.7%	67.2%	128.2%	115.9%	100.7%	84.1%	112.5%
R2年度実績	2,562	1,739	1,721	126.3%	400	136	177	204	9,449	958	130
対R2比	105.3%	105.5%	91.7%	103.4%	97.5%	97.8%	128.2%	156.9%	113.7%	105.9%	110.8%
R1年度実績	2,975	2,051	1,748	136.1%	447	249	—	326	10,788	1,213	149
対R1比	90.7%	89.5%	90.3%	96.0%	87.2%	53.4%	—	98.2%	99.6%	83.7%	96.6%
H30年度実績	3,291	2,399	1,919	150.8%	442	210	—	298	11,782	1,451	106
対H30比	82.0%	76.5%	82.3%	86.6%	88.2%	63.3%	—	107.4%	91.2%	70.0%	135.8%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク川崎 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、新型コロナウイルス感染症による雇用への長期化する中、基本に立ち戻り付加価値の高いサービス提供を目指すことを職員に意識付け、「with コロナ」として各事業に取り組みました。

目標達成に向けたモチベーションの維持・向上のため職員・相談員の個々より相談件数・紹介件数等の実績を上位管理者へ提出させ、組織・個々人の取組状況の把握とともに、フィードバックを行い、コミュニケーションツールとしても活用しました。

三密防止の観点から大規模面接会の実施が難しい中、当所会議室を利用し「ミニ面接会」を積極的に実施しました。

特に人材不足分野の事業所を中心に計55回開催し、182人参加、33人就職と大きな効果があり、with コロナ、ポストコロナとして事業継続・拡充を考えております。

また前年度新型コロナウイルス感染症の影響にて開催できなかった当所管内の湾岸地域工業団地の充足対策として、感染防止対策を行った上で、見学会付き面接会を実施しました。

職業訓練による求職者の職業能力向上を図り、再就職や転職に結びつけることが重要であると考え、ハロートレーニングを求職者に知ってもらうために、ホワイトボードを使い、ハロートレーニングのメリットをわかりやすく掲示をおこないました。また職員・相談員の職業訓練関連知識習得のための研修や独自の周知用リーフレットを作成し、雇用保険受給者等に配架しました。

当所管内にある“かなテクカレッジ東部校”と連携し、「コースガイド2021」を作成してもらい、窓口での案内説明に活用しています。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、ハローワークの職業相談等において各種労働法の知識が必要になることから、労働基準行政等との共同研修、継続的な業務改善を進めるためにハローワークマッチング機能に係る総合評価研修、労働局主催の「もっとプロジェクト研修」へ積極的に参加し、参加者が講師となる所内伝達研修を行いました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

当所1階エントランスを利用した求人情報の掲示について、より興味をひく掲示方法など常に見直しを行いました。求人票を配架し、その配架枚数の進捗を管理することで、求職者ニーズの分析を行いました。それを踏まえ、求職者ニーズに合った「テーマ別求人情報コーナー」を11月より新たに設置し、“飲食・サービス”“軽作業”“シニア世代歓迎”“事務職”と期間を設けテーマを変えて求人情報の提供を行いました。

当所ホームページに【求人者向け情報ページ】を作成し、「求職者は求人検索でここを見えています!!」として求人申込のノウハウや「社内風景 PR コーナー」「企業訪問しましたコーナー」など実際のエントランス風景を掲載することで、ハローワークにおける求人充足支援サービスのPRや画像情報募集などより細かな求人情報の提供に努めました。

また【求職者向け情報ページ】には、簡単検索を導入し、QRコードを使用したリーフレットを作成して、ハローワーク利用者に対しても利便性を図りました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

With コロナ、ポストコロナを見据え、オンライン支援の充実が課題と考え、積極的な実施と強化を図ることとします。

またハローワークサービスの周知広報強化のため、SNSを活用した積極的な情報発信が必要であると考えます。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度は、ハローワークシステムとハローワークインターネットサービスの刷新によりオンライン登録、オンライン紹介ができるようになりました。こうしたハローワークインターネットサービスの利用促進を図るとともに、自宅でも求職活動ができるよう、オンラインセミナーやオンライン職場見学、就職面接会等の積極的な実施をするとともに、ハローワークが行っている就職支援サービスについて、広く周知をしていく必要があると考えます。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	障害者の就職件数	ハローワークの職業紹介により、正社員に結びついた就職水河期世代の不安定就労者・無業者の件数	公的職業訓練終了3ヶ月後の就職件数	正社員求人数	正社員就職件数	人材不足分野の就職件数	生涯現役支援窓口での65歳以上の就職件数
令和3年度実績	3,034	2,838	1,973	116.9%	320	264	223	17,729	1,277	713	198
過去3年度平均	3,434	3,342	2,149	131.5%	293	258	204	17,469	1,621	742	139
対過去3年度比	88.4%	84.9%	91.8%	88.9%	109.2%	102.3%	109.3%	101.5%	78.8%	96.1%	142.4%
R2年度実績	2,734	2,698	2,087	119.8	183	258	187	16,148	1,208	645	150
対R2比	111.0%	105.2%	94.5%	97.6%	174.9%	102.3%	119.3%	109.8%	105.7%	110.5%	132.0%
R1年度実績	3,603	3,438	2,251	133.1	336	—	213	18,287	1,727	839	140
対R1比	84.2%	82.5%	87.6%	87.8%	95.2%	—	104.7%	96.9%	73.9%	85.0%	141.4%
H30年度実績	3,966	3,890	2,109	141.7	359	—	212	17,873	1,927	—	127
対H30比	76.5%	73.0%	93.6%	82.5%	89.1%	—	105.2%	99.2%	66.3%	—	155.9%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク横須賀 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、管内人口の高齢化と若年求職者の減少や管内充足率の高さといった現状を踏まえ、若年者・高齢者等の就労支援を最重要と考え、地方自治体及び地域経済団体と連携をとり就労支援を行いました。

特に、昨年度は新型コロナウイルス感染防止対策により開催できなかった高齢者向け「シニア面接会」を令和4年1月20日に開催し、参加企業4社、参加者97名、採用者は21名と大きな効果があり、来年度は2回の開催を目指しています。

また、大学生等を対象とした「横須賀合同企業説明会」は令和3年7月8日に開催し、参加企業29社、参加者55名、オンラインでの参加企業2社となり、利用企業や参加学生からは「今後も開催があれば参加したい」などの評価をいただいています。（アンケート結果による）

高校生向けの求人・求職情報交換会は新型コロナウイルス感染防止対策により開催はできなかったものの、代替措置として写真付きで事業所情報をわかりやすくまとめた「令和4年学卒者向け事業所情報一覧」を作成し、横須賀市、三浦市等を中心に近隣の25高等学校へ配付し事業所情報の提供を行いました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職員全員に対してPDCAサイクルをより効果的に廻していくため、あらためて各種取組に対し、何のために取組を行うのか目標を明確にし、検証するよう、意識付けを面談時等に個々に実施しました。

また、職業訓練に対する理解を深めるため及び、職業理解の向上を図るために職員を職業訓練施設で開催する見学会等への積極的な送り出しを行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

事業所へ書類の郵送時に使用する送付状に、ハローワーク横須賀ホームページの事業所向けサイトにアクセスできるQRコードを印刷し、求人者向けサービスの改善を図りました。

また、令和3年9月にハローワークシステムとハローワークインターネットサービスが刷新されたことに伴い、オンラインによる求職登録

が可能になったことから、オンライン登録の翌日に利用登録のお礼と共に、ハローワークサービスの案内や開催予定セミナー等の案内を郵送しました。

求人者・求職者へのサービスの充実を図るため、それぞれに対応マニュアルを作成し、どの職員が対応しても利用者に対して充実したサービス提供が行えるようにしました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

主に減少傾向にある若年求職者のハローワークへの関心を高めてもらうことや、利用してみたいと感じてもらえるように YouTube の公式チャンネルを開設し、事業所情報や各種セミナーの開催等についての情報発信の強化を図ります。

また、子育て中のお母さんを対象としたオンラインによる就職支援セミナーを開催し、応募書類・面接のポイント等を自宅で子供を見ながら受講していただくことで利用者目線でのサービスに取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

管内地域の高齢化のスピードは県内の都市部よりも格段に進んでおり、若年層の流出傾向もここ数年変わらない状況です。その中で平成31年3月に横須賀市・横須賀商工会議所・神奈川労働局の3者で締結した「横須賀市民の就労支援事業に関する協定」に基づく連携により、若年者の育成のために高校生を対象とした各種支援、一般社会人を対象とした合同面接会等の開催、正社員や高齢者向けの求人確保に努めるなど、求人者支援・求職者支援に取り組んでまいります。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	障害者の就職件数	ハローワークの紹介により、正社員に結び付いた就職 氷河期世代の不安 定就業者・無業者 の件数	正社員求人数	正社員就職件数	60歳以上の 就職件数
令和3年度実績	2,449	1,742	863	103.5%	171	394	5,400	874	823
過去3年度平均	2,798	1,935	1,060	119.3%	200	378	5,488	1,084	806
対過去3年度比	87.5%	90.0%	81.4%	86.8%	85.5%	104.2%	98.4%	80.6%	102.1%
R2年度実績	2,337	1,656	999	110.4%	189	378	4,780	820	671
対 R2 比	104.8%	105.2%	86.4%	93.8%	90.5%	104.2%	113.0%	106.6%	122.7%
R1年度実績	2,955	2,122	1,058	124.6%	214		5,790	1,146	878
対 R1 比	82.9%	82.1%	81.6%	83.1%	79.9%		93.3%	76.3%	93.7%
H30 年度実績	3,103	2,027	1,122	122.8%	198		5,894	1,286	868
対 H30 比	78.9%	85.9%	76.9%	84.3%	86.4%		91.6%	68.0%	94.8

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク平塚 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、新型コロナウイルス感染症による雇用への影響が長期化する中で、求職者の再就職に結びつく求人の量的確保と、求人の充足を最重要課題とし取組を行いました。

求人の確保につきましては、求人・求職の動向等を分析し、求職者ニーズの高い職種に重点を置いた求人開拓を実施しました。雇用保険の適用喪失データを活用した開拓、過去にハローワークを利用していたが1年以上利用のない事業所への開拓、ハローワーク利用勧奨リーフレットを活用したダイレクトメールの送付等を実施した結果、求人を確保することができ、新規求人数は前年度を上回りました。また、年度当初4月における当所の有効求人倍率は0.62倍で、神奈川局平均の有効求人倍率0.76倍と比較すると、-0.14ポイントと大きく下回る状況がありました。しかし、徐々に上昇し令和4年2月には0.77倍、神奈川局平均0.80倍にはわずかに届きませんでした。-0.03ポイントと大幅に改善することが出来ました。

求人充足数の確保につきましては、求人票記載内容の充実に向けた助言、魅力ある求人票の作成支援を重点的に実施しました。また、求人票・求人一覧表の庁舎内掲示を効果的に行いました。特に当所を利用される方は、地元志向が強い傾向にあり、就業場所を重要視して就職活動を行っている方が多いことから、管轄内の地図を掲示し求人の就業場所を地図内に表示するなど工夫を凝らしました。この掲示については、利用者の方から「大変見やすい掲示となった。」と評価を頂きました。さらに、充足会議を早期充足に資するための戦略の立案と情報共有の場として、個々の意見を尊重する環境の構築を図りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、本省及び労働局主催の業務研修には、積極的に職員を参加させて専門性の向上を図りました。所内においては、ハローワークのサービス向上を目的とした「ハローワーク接遇・接客マナー研修」を実施しました。また、労働基準行政との連携として、労基準監督官に講師を依頼し、労働基準関係法令の研修を実施しました。さらに、一人一人がPDCAを意識した業務を行える事を目的とした「PDCA研修」、訓練関係の知識を深めるための「訓練関係研修」、経験の浅い非常勤職員を対象とした「職業相談スキルアップ研修」を実施致しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染症対策の観点からも、所のホームページの果たす役割は非常に重要なことから、利用者の方の目線に立って、見やすく、調べたい事が容易に検索できるよう、デザインや配置を大幅に変更し改善を図りました。また、雇用保険受給資格者の方の雇用保険説明会の動画について、今までは厚生労働省のホームページからのアクセスの周知を行っていましたが、当所ホームページから直接アクセスできるよう改善を図りました。

また、繁忙期における給付課の混雑解消のため、庁舎内のレイアウトを変更し、窓口を1つ増設し改善を図りました。さらに、令和4年度より当所ホームページに混雑状況を記載したカレンダーの掲載を行えるよう準備をいたしました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新型コロナウイルス感染拡大は、容易に収束することは難しいと推測されます。そのため、来所が困難な方への対応等利用者の方のニーズに応えられるよう積極的にオンラインによる支援サービスを実施していきます。

また、従前より人材不足が深刻であった医療・福祉、建設、警備、運輸等の分野については、令和3年6月より設置されました「人材確保対策コーナー」におきまして、各関係機関と連携を図り、業務を推進しております。未充足求人へのフォローアップ、面接会や説明会の実施、求職者への積極的な働きかけ等人材確保対策を講じていますが、就職数の確保についてはまだまだ低調な状況であります。今後は、業界団体と連携し各業界の魅力をセミナー等で発信し、効果的な広報等を実施していきます。当コーナーにおいては、昨年度オンラインによる医療、保育分野で面接会、説明会を実施しましたが、今後もハローワークを利用される方のニーズに答えられるよう積極的に実施してまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度においては、新型コロナウイルスの影響が継続する中において、新規求人数と充足件数については前年度を上回りましたが、一方で、障害者就職件数においては、例年開催している大規模面接会が新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、完全予約制により実施することで参加人数の減少を招き、就職件数が減少し目標を達成することができませんでした。今年度は、前年度の反省点や培ったノウハウを活用し、障害者就職件数の確保に努めてまいります。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員就職に結びつ いた就職氷河期世 代の不安定就労・ 無業者の件数	正社員求人数	正社員就職数	障害者の就職件数	生涯現役支援窓口 での65歳以上の 就職件数
令和3年度実績	2,452	2,034	1,013	107.3%	153	7,313	1,021	225	222
過去3年度平均	2,622	2,013	1,154	123.0%	146	7,920	1,252	248	114
対過去3年度比	93.5%	101.0%	87.8%	87.2%	104.8%	92.3%	81.5%	90.7%	194.7%
R2年度実績	2,158	1,733	1,041	105.2%	146	6,971	989	227	160
対R2比	113.6%	117.4%	97.3%	102.0%	104.8%	104.9%	103.2%	99.1%	138.8%
R1年度実績	2,767	2,138	1,178	127.4%		8,498	1,312	269	133
対R1比	88.6%	95.1%	86.0%	84.2%		86.0%	77.8%	83.6%	166.9%
H30年度実績	2,942	2,167	1,244	136.5%		8,290	1,455	249	48
対H30比	83.3%	93.9%	81.4%	78.6%		88.2%	70.2%	90.4%	555.0%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク小田原 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

- ・職業相談窓口において相談・紹介から就職につなげていくために、まず紹介件数を増やしていくための方策として職員が各自、紹介件数の目標を設定しその達成に向けて取り組みました。そしてその実効性を高めるために1ヶ月ごとに取り組み内容について振り返り、把握した課題について改善を図りました。
- ・令和2年度はコロナ禍の中、感染拡大防止の観点から対面での各種面接会を開催することが出来ませんでした。令和3年度は自治体、経済団体と連携を図り、感染防止対策を図った上で各種面接会、セミナーを開催しました。
- ・当所より管内事業所に対して所内での企業説明会開催を提案し実施しました。参加した求職者の方からは、「事業所、仕事内容の理解が深まりました」などの好意的な意見をいただきました。さらに実施回数を増やしハローワークが求人・求職の具体的なマッチングの場としてさらに認知されるべく取り組んでまいります。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・職員の育成を図る観点から、若手職員を中心にしたメンバーによる業務検討会を定期的に行い、利用者目線に立った業務改善を図るべく検討を行いました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・上記業務検討委員会でハローワークから利用者への情報発信について、利用者の方にとって見やすく分かりやすいものにしていくという視点から検討し、所内の求人票の掲示方法、所のホームページについて改善を図りました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・今年度、ハローワークからの情報発信について改善に取り組みましたが、より効果的に情報発信を図るために有効なSNS(Twitter、LINE)を活用するまでいきませんでした。今後は、いかに多くの方々に情報を発信できるかを意識してツールを有効に活用するとともに、来所

が困難な利用者の方のためのオンラインでの職業相談、セミナーの開催についても積極的に取り組んでまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・令和3年度についても、当所管内の主要産業である観光業は緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発令に伴い観光客が減少する等大きな影響を受けました。卸売業、小売業等の関連する業種にもその影響は及びました。厳しい雇用情勢が続く中、求職者ニーズの高い業種・職種の人材の確保に積極的に取り組みます。そのために事業所へのアプローチを増やし求人開拓に取り組むとともに、事業所とのアプローチの中で収集した事業所、業界等の情報は、管内労働市場の把握、職業相談業務にも活用してまいります。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	正社員求人数	正社員就職者数	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結び付いた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	障害者の就職件数
令和3年度実績	1,412	1,188	589	103.3%	3,444	572	71	113
過去3年度平均	1,666	1,562	688	119.7%	4,730	688	60	117
対過去3年度比	84.8%	76.1%	85.6%	86.3%	72.8%	83.1%	118.3%	96.6%
R2年度実績	1,352	1,251	577	104.7%	3,261	539	60	83
対R2比	104.4%	95.0%	102.1%	98.7%	105.6%	106.1%	118.3%	136.1%
R1年度実績	1,691	1,496	705	123.0%	4,602	714		134
対R1比	83.5%	79.4%	83.5%	84.0%	74.8%	80.1%		84.3%
H30年度実績	1,955	1,939	781	131.4%	6,327	812		133
対H30比	72.2%	61.3%	75.4%	78.6%	54.4%	70.4%		85.0%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク藤沢 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、求職者が見て理解しやすく、応募に前向きになれるような求人確保を最重点課題とし、求人者・求職者双方の目線に立った求人票を作成する取組を強化しました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、非常勤職員も含む全ての職員にP D C Aサイクルによる目標管理とハローワークのマッチング機能強化に係る「ハローワーク総合評価等研修」を実施しました。

加えて、能動的なマッチングを行う意識を形成するために、職業紹介担当職員と求人担当職員に対し、「マッチング向上のためのワンポイント研修」を毎回違うテーマを題材として、全四回実施しました。

また、来所される求職者に対するサービス向上を目的として職業相談部門の非常勤職員全員による「ハローワークに来たことがない(知らない)求職者へのハローワークの周知、PRについて」、「来所者端末閲覧のみの求職者への職業相談窓口への誘導について」の二つのテーマでの意見交換会や「当所における職業相談業務の現状説明及びカスタマーハラスメント対応にかかる勉強会」を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

求職者への効果ある求人情報提供サービスの提供とマッチング機能のさらなる向上を目的として、令和3年7月から「マッチング力向上運動～1日1マッチング」を実施しました。これは当日受理した求人の中から1～2件「本日の注目求人」を選定し、具体的な注目ポイントを求人部門で書き添えて職業紹介部門に情報提供することで、職業紹介部門職員の求人内容の理解が深まり、能動的にマッチングする件数がより増加する改善を図りました。また、毎月2回実施している求人充足会議「マッチングカンファレンス」において、求人部門と職業紹介部門でお互いの情報を共有しつつ効果的なマッチングを実施し、求人者サービスに努めました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求人者サービスを能動的に展開するために求人・求職の動向を分析した上で、求職者ニーズの高い職種・業種等に重点を置いた求人開拓に努めます。

ウイズコロナの中、オンラインを活用して、職業相談やセミナーの開催など、オンライン職業相談等を推進します。

(4) その他業務運営についての分析等

雇用保険受給者の早期再就職件数の目標が達成できなかった要因は、早期再就職につなげるための求職者の特性や状態を把握することが不十分であったことが考えられることから、初回の失業認定日に来所される際の相談票を改訂し、適切な支援を実施できるように努めます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により雇用保険受給者を対象とし、ハローワークのサービスメニュー等を説明する初回講習会が開催できなかったことも一因であるため、来年度の早い時期に初回講習会を開催するよう努めます。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	紹介率	生活保護受 給者等の就 職件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員に結 びついた就職 氷河期世代の 不安定就労者・ 無業者の件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた 重点支援対象者 の就職率	正社員求人数	正社員就職 件数	生涯現役支 援窓口での 65歳以上の 就職件数	求職者担当 制の就職率 (一方向制)
令和3年度実績	3,717	3,039	2,191	112.3%	378	381	100%	11,417	1,498	222	16.8%
過去3年度平均	4,404	3,342	2,465	129.2%	404	478	98.2%	14,132	1,888	171	20.1%
対過去3年度比	84.4%	90.9%	88.9%	86.9%	93.6%	79.7%	101.8%	80.8%	79.3%	129.8%	83.6%
R2年度実績	3,587	2,781	2,392	116.9%	411	154	97.7%	10,941	1,425	220	18.7%
対R2比	103.6%	109.3%	91.6%	96.1%	92.0%	247.4%	102.4%	104.4%	105.1%	100.9%	89.8%
R1年度実績	4,577	3,420	2,508	126.1%	370	872	97.7%	14,975	1,954	175	20.6%
対R1比	81.2%	88.9%	87.4%	89.1%	102.2%	43.7%	102.4%	76.2%	76.7%	126.9%	81.6%
H30年度実績	5,047	3,824	2,495	144.5%	430	409	99.2%	16,480	2,286	119	21.1%
対H30比	73.6%	79.5%	87.8%	77.7%	87.9%	93.2%	100.8%	69.3%	65.5%	186.6%	79.6%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク相模原 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職氷河期世代に対するマッチング業務を最重要と考え、特に職業紹介により正社員に結びついた就職氷河期（35歳～54歳）の不安定就労者・無業者の件数の向上を目指して重点的に進めることとし、担当者制の実施や就職支援セミナーの開催などの取組を行いました。

特に求職者担当者制による個別支援は、正社員就職件数308件（令和2年度は229件）と、大きな効果があり事業継続の必要性が高い取組です。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業相談担当者の個別進捗管理を行うため「達成度評価表」を作成し、PDCAサイクルを廻していく工夫をしました。

加えて、ハローワークの職業相談等においては、各種労働法の知識が必要になることから、労働基準行政等との共同研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワークインターネットサービスによる利用者サービスの機能追加に伴い、ハローワークからの求人情報提供サービスやオンライン紹介などの利用促進のため、求職者マイページ登録の推進を行いました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

大勢の参加者を募って大きな会場で開催する大規模面接会は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを考慮し開催が中止され、事前予約制による小規模な面接会に変更して開催しました。

今後は小規模な面接会を中心に、他のハローワークの取組なども参考により多くの求職者の皆様に参加していただけるよう改善を図ることとします。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度は、当所管内の主要産業である各種機器製造業の業績が半導体の供給不足等の影響により不振であったため、正社員求人を14,124件受理する計画が14,094件に終わりました。今後は、求人開拓の重点を求職者ニーズの高い職種とし、できるだけ多くの正社員求人を受理できるようにいたします。

2 マッチング関係業務の成果 (主なもの)

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	④ハローワークの職 業紹介により、正社員 に結びついた就職氷 河期世代の不安定就 労者・無業者の件数	⑧正社員求人数	⑨正社員就職件数	①生活保護受給者 等の就職率	②障害者の就職件 数
令和3年度実績	3,515	2,936	1,795	107.9%	308	14,094	1,404	434	409
過去3年度平均	3,954	3,472	2,031	121.6%	229	14,890	1,767	480	387
対過去3年度比	88.9%	84.6%	88.4%	88.7%	134.5%	94.7%	79.5%	90.4%	105.7%
R2年度実績	3,183	2,700	1,678	106.5%	229	12,917	1,309	365	364
対R2比	110.4%	108.7%	107.0%	101.3%	134.5%	109.1%	107.3%	118.9%	112.4%
R1年度実績	4,151	3,739	2,079	120.9%		15,550	1,848	538	399
対R1比	84.7%	78.5%	86.3%	89.2%		90.6%	76.0%	80.7%	102.3%
H30年度実績	4,527	3,977	2,337	137.5%		16,203	2,143	538	397
対H30比	77.6%	73.8%	76.8%	78.5%		87.0%	65.5%	80.7%	103.0%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク厚木 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、就職件数の目標達成を最重要と考え、特に新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い退職した非自発的失業者への就職支援に取り組みました。事業所部門においては、コロナ禍により減少した新規求人を確保するため、管内の商工会議所に協力を仰ぎ、会員3,000社に対しハローワーク利用勧奨リーフレットを配布、商工会の広報誌へ利用勧奨広告の掲載、内陸工業団地の協力により、組合員（140社）へ利用勧奨職メールの配信等に取り組み、新規求人数は前年度比15.8%増と成果を上げることができました。

また、経験を問わない常用雇用求人を対象とした小規模面接会（ミニ面接会（ハロージョブ））を年7回開催、介護福祉業界の企業見学会&面接会を年6回開催し、参加者85名、就職12名の成果がありました。

業種間・職種間異動を伴う再就職の検討に有効な公共職業訓練・求職者支援訓練の受講あっせんについても積極的に取り組み、雇用保険受給資格者証に職業訓練制度利用メッセージを印刷するなど、周知について工夫したところ、あっせん数263件（目標179件）を達成することができました。

こうした取り組みにより、就職件数は2,448件と前年度を7.4%上回る事が出来ました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、地域若者サポートステーションと連携したサポートステーション事業の研修、ハローワークシステム刷新研修、労働法基礎知識研修、求職票・管理情報の完全記入のための研修を実施し、窓口業務におけるサービスの向上、専門性の向上を図りました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

コロナ禍において、来所が困難な方の対応や窓口の混雑を回避するため、オンラインによる支援サービスを積極的に展開しました。

主に障害者の職業相談や新規学卒者向けオンライン面接対策に活用し、若年者対象の就職支援セミナーや企業見学会についてもオンラインにて開催して利便性向上を図りました。

さらに、オンラインを活用した地方公共団体及び障害者就労支援機関とより一層の連携構築を図る会議を開催し、参加者から好評を得ました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

ハローワークシステムとハローワークインターネットサービスの刷新により機能強化されたサービスについて、マイページ登録者を増やすことにより効果的な就職支援サービスの活用を図ってまいりましたが、オンライン登録者など主にオンラインで仕事を探している方については、ハローワークの就職支援サービスをまだ十分に届けられていない状況にあります。

今後は、郵便やSNS等を活用し、一人でも多くの方にハローワークの支援内容を積極的に周知し、必要な支援を届けることにより、就職できるよう取り組んでまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

ハローワークシステムとハローワークインターネットサービスの刷新により、「オンライン自主応募」など来所に因らないサービスが充実した一方、来所による職業相談はインターネットの利用が苦手な高齢者や就職活動に不安や悩みを抱えた方の利用が増えてきております。このような方に付加価値の高い職業相談を実施していくことが今後の課題であり、そのためには求人票以上の事業所情報の収集や担当者制による課題解決支援サービスを充実させ、求人者支援・求職者支援に取り組んでまいります。

2 特記事項

障害者の就職支援において、担当部門が連携を図り、障害者の法定雇用率未達成企業に積極的に雇用支援を行いました。その取り組みを通じて、一部の管内企業においては、特例子会社を設立する運びとなり、多数の障害者雇用と法定雇用率達成を実現することができました。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	生活保護受給者等 の就職率	障害者の就職 件数	就職支援ナビゲータ 一の支援による正社 員就職件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員に結 びついた就職氷 河期世代の不安 定就労者・無業 者の数	正社員求人数	正社員就職 件 数	生涯現役支援窓 口での65歳以 上の就職 件数
令和3年度実績	2,448	2,573	1,423	155	343	320	244	12,320	1,088	133
過去3年度平均	2,709	2,782	1,540	202	304	233	176	13,404	1,258	104
対過去3年度比	90.4%	92.5%	92.4%	76.7%	112.8%	137.3%	138.6%	91.9%	86.5%	127.9%
R2年度実績	2,279	2,336	1,290	155	305	256	176	10,878	1,007	106
対R2比	107.4%	110.1%	110.3%	100%	112.5%	125.0%	138.6	113.3%	108.0%	125.5%
R1年度実績	2,752	2,798	1,645	217	303	245		14,442	1,277	117
対R1比	89.0%	92.0%	86.5%	71.4%	113.2%	130.6%		85.3%	85.2%	113.7%
H30年度実績	3,096	3,211	1,686	234	303	199		14,891	1,490	90
対H30比	79.1%	80.1%	84.4%	66.2%	113.2%	160.8%		82.7%	73.0%	147.8%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク松田 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

- ・求職されている方々に、求人への応募に結びつくようにマッチングを図った上で、郵送や求職者マイページへの配信により積極的に求人情報の提供を行いました。
- ・職業紹介窓口担当者が月ごとに紹介件数の目標を立て、担当者自身で紹介件数の管理を行うこととしました。目標に対する進捗を管理し、実施結果の振り返りを行うことによって取り組み内容の改善を図りました。
- ・職業紹介窓口の相談においては求人情報の提供だけではなく、応募書類の作成指導、面接時のアドバイス、未経験職種や経験が浅い職種を希望する方々へ職業訓練制度の周知など課題解決支援サービスに取り組みました。
- ・求人充足に向けたフォローアップとしては、職業紹介と求人受理の担当者による求人充足会議を行い、求人票の記載内容の充実や、求人条件の緩和等について話し合い、求人充足会議の結果に基づいた提案を積極的に求人者に行いました。また、求人条件の緩和をしていただいた求人票は、求職されている方々へ積極的に情報提供し求人充足に取り組みました。
- ・管内事業所への訪問等によるアプローチを増やし、求人にかかる状況確認、情報収集を図りながら求人開拓に取り組みました。
- ・障害をお持ちの方々への就職支援については、就労支援機関、養護学校等と積極的に連携を図るとともに、合同就職面接会を実施し、雇用促進を図りました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・職員、相談員に対してPDCAサイクルによる目標管理についての研修を実施し、達成すべき目標、取り組みについて意識付けを図ることで、所全体で目標達成に向けて各種取り組みを行うようにしました。
- ・窓口でのより良いコミュニケーション作りのために、接遇・接客マナーに関する研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大により来所を控えて、お仕事探しをされている方々の求人応募については、電話による紹介状発行を行うなど求職されている方々の意向を優先した対応をしました。また、自薦された求人への応募が不調であった場合には、ご本人のご

希望を踏まえマッチングを図った求人情報の提供や応募書類の作成指導、面接時のアドバイス、未経験職種や経験が浅い職種を希望する求職者への職業訓練制度の周知など課題解決支援サービスに取り組みました。

- ・求職されている方々のニーズを踏まえての求人開拓、求人条件の緩和の提案や求職されている方々への求人情報提供を行いました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・新型コロナウイルス感染拡大により来所を控えて求職されている方々に対して、電話による職業相談、職業紹介の他オンラインシステムを活用した職業相談、職業紹介も進めてまいります。
- ・雇用保険失業等給付の基本手当を受給されている方々の早期再就職を促進するため、求職者担当者制による課題解決支援サービスを積極的に行うこととします。
- ・人材が不足している分野への就職促進と求人充足のため、該当分野に特化した求人情報の提供や就職面接会を開催します。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・求人数に緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、求人が求職を下回っており、今後も積極的な求人開拓による求人の確保が必要なことから、1年以上ハローワークに求人申し込みをされていない事業所へ積極的にアプローチし、求人開拓を行ってまいります。
- ・職員の職業マッチング向上に役立つ、仕事理解を促進するための管内事業所訪問を計画的に行ってまいります。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数 (必須指標)	正社員就職件数 (必須指標)	障害者の就職件数
令和3年度実績	1,440	1,176	640	92.4%	86	4,914	614	119
過去3年度平均	1,635	1,363	752	102.4%	36	4,208	718	127
対過去3年度比	88.1%	86.3%	85.1%	90.2%	238.9%	116.8%	85.5%	93.7%
R2年度実績	1,321	1,081	619	92.0%	48	3,985	544	120
対R2比	109.0%	108.8%	103.4%	100.4%	179.2%	123.3%	112.9%	99.1%
R1年度実績	1,721	1,416	779	102.0%	24	4,155	773	131
対R1比	83.7%	83.1%	82.2%	90.6%	358.3%	118.3%	79.4%	90.8%
H30年度実績	1,865	1,592	857	113.2%	35	4,485	838	129
対H30比	77.2%	73.9%	74.7%	81.6%	245.7%	109.6%	73.3%	92.2%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク横浜南 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

令和3年度においても引き続きコロナ禍の影響により、雇用保険失業給付を受給される方々の求職活動期間の長期化が目立つなど厳しい状況の下で、「雇用保険受給者早期再就職件数」の増加を特に重点的に進めることとし、すべての受給者の皆様に対して、最初の失業認定日に来所された際に、事前に用意しておいた個々の求職希望条件に見合った求人情報の提供を行うなど、早期再就職の実現に力を入れて取り組みました。また、求職者をマンツーマンで支援する「求職者担当制」を実施し、求職者一人ひとりに対して求職活動のノウハウの提供やマッチングを図った求人情報の提供を行うなど丁寧な個別支援を行いながら、確実に就職へ結びつけることを目指しました。

また、管内に大規模な産業団地を有し、製造業の求人割合が高いという当所の特徴から、製造業を中心とした求人開拓に重点を置き、独自に作成した「LINKAI 横浜・金沢産業団地」の事業所リストを基に、ハローワークシステムとハローワークインターネットサービスの刷新以降に求人が未提出の事業所やこれまでハローワークの利用実績のない事業所も含めた求人ニーズの把握と正社員求人の確保に取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、PDCA サイクルによる目標管理を推進するための研修、ハローワークシステムとハローワークインターネットサービスの刷新に関連して主な変更点と窓口業務対応及び求職者マイページを通じて効果的に職業紹介を行うための研修等を所内で実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

ハローワーク利用者の裾野を広げるために、当所ホームページの刷新を行い、前日に受理した求人や医療関係求人検索の他に、求人かんたん検索、英語を使う仕事、Wワーク可、氷河期世代求人等の検索機能を追加しました。また、求職受付票にQRコードを表示（ラベルシート貼付）し、当所ホームページにリンクを貼ることでホームページ閲覧へのアクセスを促しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

働く意欲の高い高齢者の占める割合が増加していることから、「シニア応援セミナー」の開催や、「シニア求人ニュース」による求人情報の提供をより積極的に行うなど、「生涯現役支援窓口」の充実に努めます。

また、コロナ感染拡大防止のため雇用保険説明会及び初回講習会を中止としていた関係で、雇用保険受給者の早期再就職件数は前年度実績を下回りました。今年度は雇用保険説明会及び初回講習会の再開を早期に検討し、早期再就職のメリットとハローワーク支援メニューの説明を行いハローワークの利用を推進することで、雇用保険受給者の早期再就職に取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

「求人者マイページ」を利用してオンラインで求人申込手続きを行う求人企業の皆様や、「求職者マイページ」を利用してオンラインで仕事探しを行う求職者の皆様が今後益々増加することが見込まれる中で、引き続き、求人者・求職者マイページの開設を推進し、オンラインでの求人情報提供や職業紹介を行う新しいハローワークのサービスを効果的に展開するとともに、積極的なハローワーク支援メニューの周知と窓口での専門的な就職支援を行うことでマッチング機能の向上に努めます。

2 特記事項

当所では、管内の「LINKAI 横浜・金沢産業団地」における主要な構成団体である「一般社団法人横浜金沢産業連絡協議会」及び「横浜市金沢団地協同組合」と締結する人材確保等にかかる連携協定を活かして、事業主団体の皆様の協力を得ながら、求人の確保や面接会の開催、雇用関係の各種支援制度の周知等を行っております。

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	障害者の就職件数	生涯現役支援窓口 での 65 歳以上の 就職件数
令和3年度実績	1,468	1,238	732	116.8%	96	4,199	506	169	116
過去3年度平均	1,584	1,412	877	120.6%	56	4,157	634	144	129
対過去3年度比	92.7%	87.7%	83.5%	96.8%	171.4%	101.0%	79.8%	117.4%	89.9%
R2年度実績	1,284	1,172	844	106.8%	56	3,724	486	95	152
対 R2 比	114.3%	105.6%	86.7%	109.4%	171.4%	112.8%	104.1%	177.9%	76.3%
R1年度実績	1,676	1,468	896	123.2%	—	4,181	687	169	136
対 R1 比	87.6%	84.3%	81.7%	94.8%	—	100.4%	73.7%	100.0%	85.3%
H30 年度実績	1,793	1,596	891	131.7%	—	4,566	730	168	98
対 H30 比	81.9%	77.6%	82.2%	88.7%	—	92.0%	69.3%	100.6%	118.4%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク川崎北 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、新型コロナウイルス感染防止を徹底した上で求職者に対する就職支援、求職者ニーズに沿った求人確保について取組を重点的に行いました。

- ・求職者に対して、従来から取り組んできました就職活動の充実に向けた各種セミナーや企業と求職者の方々が集まる合同就職面接会などは、その多くが新型コロナウイルス感染症拡大の影響から実施困難な状況であったことから、これらの支援メニューのうち可能なものについては、オンラインへ移行（「面接の基本（入門編）」、「リレーセミナー」、「HOW TO キャリアチェンジ」、「面接会」等）して実施しました。
- ・地域事業主団体と連携して事業所とのオンライン面接会（面接前に事業所の動画を視聴した後に事業所担当者と面接）を実施しました。
- ・求人確保については、月一回「ハローワークからの求人募集のご案内及び採用計画アンケート」を実施、管内事務組合の協力を仰ぎ新規求人開拓を行って、開拓した求人の充足に努めました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・当所では職員の育成を図る観点から、職業安定行政の幅広い知識を習得する必要があるため「ハローワークのマッチング機能に関する評価・改善の取組」について、総合評価の実施目的や指標設定の理念及び目標値が理解・意識されるように研修を実施しました。
- ・若手職員の知識向上を図るために労働基準監督署より講師を招き「労働基準関係法令と働き方改革」についての研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・マザーズコーナー及び就職氷河期コーナーの周知のため、自所にて周知用「しおり」を作成し、マザーズ周知分として管轄内の各図書館（5所）、就職氷河期周知分を管内大型書店（4店舗）に配架して周知を図りました。
- ・当所のホームページ上に「かんたん求人検索」を設けて、ワンクリックで求人検索出来るように改修しました。
また、当所のLINE公式アカウントを開設して、①ハローワーク川崎北ホームページ、②ハローワーク川崎北混雑状況・イベント情報、

③インターネットサービス、④かんたん求人検索の情報発信し、求職活動を行う求職者に対して各種の支援を周知することにより、ハローワーク利用へ呼び込みました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

- ・引き続き新型コロナウイルス感染症の影響下、来所者に安心して利用出来る環境（各種セミナーの開催、面接会の実施）を継続するとともに、来所を要しない支援として電話による相談・紹介やオンライン相談の実施、求職者マイページを活かした支援に取り組みます。
- ・事業所に対しても、積極的な事業所訪問を行い事業所情報の収集に努め、事業所部門と職業紹介部門が連携してマッチング効果の高い職業相談・紹介に繋げていけるように取り組みます。

(4) その他業務運営についての分析等

- ・新型コロナウイルス感染症による雇用への影響はあるものの、新規求人数や新規求職者数はコロナ禍前に戻りつつありますが、ハローワークへの再来者（リピーター）が減少したことにより、紹介件数・就職件数が減少していることから、LINEを活用し、ハローワークにおける就職支援メニューの案内及び就職氷河期、マザーズコーナーの案内を配信し、利用の勧奨を行いました。

2 特記事項

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受 給者早期再 就職件数	紹介率	生活保護受 給者等の就 職率	障害者の就 職件数	ハローワークの職業紹介に り、正社員に結びついた就職 氷河期世代の不安定就労 者・無業者の件数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	正社員求人 数(必須指標)	正社員就職 件数	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の就職件数
令和3年度実績	3,289	2,064	2,882	99.4%	55.0%	397	611	517	11,648	1,280	212
過去3年度平均	3,749	2,531	3,203	118.2%	57.0%	365	325	454	11,326	1,576	162
対過去3年度比	87.7%	81.5%	90.0%	84.1%	96.5%	108.8%	188.0%	113.9%	102.8%	81.2%	130.9%
R2年度実績	3,040	1,868	2,766	102.0%	58.0%	248	325	307	9,537	1,239	168
対R2比	108.2%	110.5%	104.2%	97.5%	94.8%	160.1%	188.0%	168.4%	122.1%	103.3%	126.2%
R1年度実績	3,839	2,658	3,325	120.6%	55.3%	432		444	11,782	1,610	155
対R1比	85.7%	77.7%	86.7%	82.4%	99.5%	91.9%		116.4%	98.9%	79.5%	136.8%
H30年度実績	4,369	3,066	3,517	132.1%	57.8%	416		610	12,659	1,880	164
対H30比	75.3%	67.3%	81.9%	75.2%	95.2%	95.4%		84.8%	92.0%	68.1%	129.3%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク港北 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では長期化する新型コロナウイルス感染拡大のなか、社会的弱者といわれる生活保護受給者等の就労支援を重要と考え、地方自治体と連携のもと、以下の取組を行いました。

- ・生活保護受給者等の就労による自立促進を図るため、地方自治体との一体的事業による就職支援を重点的に進めました。支援対象者に対する定期的（毎月）な情報交換や業務に関する共同研修会等の実施、また共同事業として就職面接会を開催し、就職支援の強化に努めました。その結果、就職件数は908件でした。（前年度比8.5%増）
- ・特に地方自治体との共同研修会は7回実施し、区役所職員（4区計69名）に対し、ジョブスポット（一体的事業施設）の具体的な支援内容や労働市場等について講義をいたしました。結果、双方の連携が促進され風通しのよい関係を構築することができました。また、好評につき各区役所からは、取り組みの継続を要望されています。

また、令和3年12月に就職面接会を港北区役所と連携し開催しました。（参加事業所6社、就職3件）

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

中長期的な職員の育成を図る観点から、職業相談窓口を担当する職員に対し、課題解決支援サービス、対面サービスの一層強化のため所内研修を実施しました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

- ・インターネットを活用した広報活動が一層重要性を増していることから、ソーシャル・ネットワーキング・サービスによる、職業紹介に関する支援メニューやイベント等の広報を行い、求職者サービスの改善を図りました。開始直後に実施したアンケート結果により、求人情報の掲載を希望する求職者が多かったことから、月2回の求人情報提供を実施しました。
- また、新着求人が確認できる「かんたん求人検索」や当所のホームページ、ハローワークインターネットサービスにリンクできるようにしました。
- ・その一方でパソコン操作に戸惑う高齢者に対しては、フロアナビゲーターによるマンツーマンでの操作の支援や個別セミナーを実施し参加

者からは大変好評を得ました。また、生涯現役支援窓口へ誘導し職員による窓口での求人情報の提供、職業相談を積極的に実施しました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

マザーズコーナーにおける担当者制による就職支援を受けた重点支援対象者の就職率が低調であったことから、就職支援の強化及び仕事と家庭の両立可能な求人の確保に努めます。

併せて当該コーナーを広く知ってもらい、利用に繋がるよう、ソーシャル・ネットワーキング・サービスによる、職業紹介に関する支援メニューやイベント等の広報、関係施設へのリーフレット送付等積極的に実施します。

(4) その他業務運営についての分析等

令和3年度は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により新規求人数が前年度より減少し、31,842人に終わりました。この減少が、紹介件数、就職件数の減少にも影響を及ぼしていることから、今後は、事業所訪問等による求人開拓を積極的に実施し、雇用の確保を図ってまいります。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険 受給者早期 再就職件数	紹介率	生活保護受給 者等の就職率	障害者の 就職件数	ハローワークの 職業紹介により、 正社員に結びつ いた就職氷河期 世代の不安定就 労者・無業者の 件数	マザーズハロー ワーク事業にお ける担当者制に よる就職支援を 受けた重点支援 対象者の就職率	正社員求人数	正社員就職件数	生涯現役支援 窓口での65歳 以上の就職件数
令和3年度実績	2,858	2,699	2,807	110.2%	63.0%	306	247	77.1%	16,819	1,033	248
過去3年度平均	3,251	3,239	3,003	128.3%	61.3%	344	133	95.9%	21,502	1,341	131
対過去3年度比	87.9%	83.3%	93.5%	85.9%	102.8%	89.0%	185.7%	80.4%	78.2%	77.0%	189.3%
R2年度実績	2,840	2,505	2,960	116.0%	53.0%	311	133	104.2%	17,512	1,078	160
対R2比	100.6%	107.7%	94.8%	95.0%	118.9%	98.4%	185.7%	74.0%	96.0%	95.8%	155.0%
R1年度実績	3,253	3,301	3,020	125.5%	63.0%	386		88.6%	22,987	1,336	131
対R1比	87.9%	81.8%	92.9%	87.8%	100.0%	79.3%		87.0%	73.2%	77.3%	189.3%
H30年度実績	3,659	3,911	3,029	143.3%	68.0%	334		95.0%	24,008	1,610	101
対H30比	78.1%	69.0%	92.7%	76.9%	92.6%	91.6%		81.2%	70.0%	64.2%	245.5%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。

ハローワーク大和 就職支援業務報告（令和3年度）

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、地域に根ざした業務運営を重視していることから、地方自治体及び関係機関との連携に重きを置き各種の取組を実施しました。地方自治体には毎月定期的に訪問し、管内の雇用情勢の説明や求人情報を提供するとともに、自治体からの情報を入手するなど情報交換を継続実施しております。

また、地元経済団体も含めた雇用対策推進協議会（本年度は書面開催）及び一体的実施事業の連携を強化する取組を実施しました。

前年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止していた大規模面接会については、感染拡大防止対策を行いながら、実施することが出来ました。また、コロナ禍に対応した小規模な面接会（ミニ面接会）を毎月2回開催（計37事業所参加）することが出来ました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、職員の専門性の向上と管内事業所との信頼関係の構築のため、コロナ禍で中止していた事業所訪問を再開し、職員の管内事業所の職務内容の理解促進を図るとともに、事業所訪問時に収集した情報を基に見やすい吹き出しなどを作成して玄関エントランス等に求人票を掲示するなど利用者が興味を示す発信に力を入れる工夫を行いました。

また、コロナ禍により中止をしていた雇用保険説明会及び初回講習会を感染対策に注意を払いながら再開し、雇用保険失業等給付の基本手当受給のポイント説明や就職活動の進め方などの理解促進を図り、職員も講師としてのスキルアップに努めました。

そして、業務検討・改善会議を創設し、問題提起を行い行動に移す仕組みを構築いたしました。

（2）サービス改善・業務改善を図った事項

新規求職者数がほぼ横ばい状況（0.1%増加）に対し、新規求人数が増加（12.2%）する中、求職者の興味を引くために求人のPRが必要となり隣接するハローワーク（戸塚所、藤沢所）と連携し沿線求人一覧表の作成や、求人のポイントを見やすい吹き出しにしたものなどを作成して玄関エントランス等に求人票を掲示するなどの発信に力を入れる工夫を行いました。また、管内自治体に就職面接会のチラシや求人情報一覧、各種イベント情報の配架依頼をするなど積極的な周知をおこないました。マザーズコーナーについては、未経験者が応募可能な

求人や突発の有給休暇が取得可能求人などコーナーに特化した求人一覧表を毎月発行しています。就労情報だけでなく保育園情報などの生活支援情報を地方自治体の協力を図りながら掲示するとともに、SNS（LINE）の開設を実施し情報発信に力を注ぎました。

また、マイページ利用推奨のチラシを作成し、求職者の希望に合う求人情報の提供を積極的に行いました。

求人充足については、積極的に事業主への求人条件の緩和や求職者目線を意識した求人票の作成方法を提案し、必要とされる事業所については担当者制を実施し支援いたしました。

（3）今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

より精度の高いマッチングを図るためには、求職申込時の丁寧な聞き取りが必要なことから、基本業務の徹底に努めます。また、各種セミナーやミニ面接会などは新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案し、新たにオンラインを活用した事業を展開してまいります。

職業相談部門担当者も積極的に事業所へ訪問し、業務内容の把握や訪問により得られた情報を活用し、求人の早期充足に努めます。

また、ハローワークを近年利用されていない事業所の求人開拓を積極的に行います。

（4）その他業務運営についての分析等

新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、大規模な面接会等は多くの集客が望めない状況が続いておりましたが、今後の運営については地方自治体など地域の意向を反映しながら実施していく必要があります。また、来所者が減少する中、ハローワークをあまり利用していない層への周知が必要と考えます。そして、課題解決支援サービスの充実や来所された方々が興味を示すように掲示物を工夫し、その他求人票に記載されている内容をより解りやすくなるような提案を行うなどの更なる取組が必要と考えます。

オンラインによる職業紹介については、引き続き需要が増えることが見込まれ、当所では電話による職業紹介の充実を図ります。また、オンライン自主応募について現在は利用が少ない状況ではありますが、今後は需要が増えることが見込まれるため、オンラインのみの利用者に対しハローワーク利用の啓発に努めます。

2 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結びついた 就職氷河期世代の 不安定就労者・無 業者の件数	正社員求人数	正社員就職件数	障害者の就職件数	マザーズハローワ ーク事業における 担当者制による就 職支援を受けた重 点支援対象者の就 職率
令和3年度実績	2,215	1,697	922	111.0%	108	6,420	959	168	84.3%
過去3年度平均	2,472	1,784	990	122.1%	117	6,754	1,121	172	96.5%
対過去3年度比	89.6%	95.1%	93.1%	90.9%	92.3%	95.1%	85.5%	97.7%	87.4%
R2年度実績	2,075	1,504	950	114.0%	117	5,621	862	164	97.3%
対 R2 比	106.7%	112.8%	97.1%	97.4%	92.3%	114.2%	111.3%	102.4%	86.6%
R1年度実績	2,472	1,754	994	117.0%		6,462	1,144	176	97.5%
対 R1 比	89.6%	96.8%	92.8%	94.9%		99.4%	83.8%	95.5%	86.5%
H30 年度実績	2,870	2,095	1,027	135.4%		8,179	1,358	175	94.8%
対 H30 比	77.2%	81.0%	89.8%	82.0%		78.5%	70.6%	96.0%	88.9%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。